

論文内容についての著者申告

(1) 分野

論文の分野を表1, 表2より選び, 記号でお示してください。(,)
 専門分野一覧

表1 加工法別分類 (分類1)

No	加工法
A	変形/破壊挙動
B	材質改善, 塑性応用
C	材料試験
D	圧延 (板)
E	圧延 (線, 形材・管)
F	鍛造
G	押し出し
H	引抜き
I	せん断加工
J	板材成形
K	インクリメンタルフォーミング
L	曲げ加工 (形材)
M	ロール成形
N	チューブフォーミング
O	回転加工 (転造・スピニング)
P	仕上げ, 矯正
Q	高エネルギー速度加工
R	接合
S	粉体加工, 固化成形
T	半熔融加工, 射出成形
U	ナノ/マイクロ加工
V	複合加工
W	その他

表2 要素技術別分類 (分類2)

No		要素技術	
1	材料モデリング	塑性理論, 結晶塑性	
2	解析技術	基礎理論, 解析モデル	
3		数値シミュレーション	
4		実験シミュレーション	
5	材 料	鉄鋼	
6		非鉄金属	
7		超塑性材料	
8		樹脂, 高分子材料	
9		セラミック, 非晶質材料	
10		木材, 紙, バイオ素材	
11		複合材料	
12		新素材, その他の材料	
13		加工特性	変形/負荷特性, 加工条件
14			精度, 残留応力
15	トライボロジー		
16	工具・金型	設計, CAD/CAM	
17		工具材料, 表面処理	
18	システム	計測・制御	
19		加工機械, 生産システム	
20		その他	

(2) 論文において主張される点を例に倣って箇条書きでお示してください。

(2-1) 新規性

- (例1) ○○理論に対して, 従来考慮されていなかった○○を付け加えることによって, 新たに○○までに適用範囲を拡張した。
- (例2) 新たに○○法を提案し, 実施することにより, 00以上の○○率を達成できた。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____

(2-2) 工学的もしくは工業的有用性

- (例1) ○○プロセスに新たに○○センサーを付け加え, 加工制御することにより, ○○精度を○○以上とし, ○○にも本プロセスが適用可能となった。
- (例2) 本シミュレーションの提案により, 従来行われていた○○試験を省略できるようになった。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____